

事業内容		STEP 1:方針検討、用地決定			STEP 2:造成設計・工事、運営試行			STEP 3:施設整備、運営試行、開業準備				
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
1. 施設の整備												
用地関連	用地買収		交渉	買収								
	用地測量		測量	境界確定								
	農地転用				区域除外	農地転用						
	地質調査											
造成関連	造成設計											
	造成工事					仮造成						
建築関連	基本構想											
	基本計画											
官民連携	可能性調査											
	PFIアドバイザー											
2. 運営体制												
地域参画の検討	釜戸の将来ビジョン協議会(仮称) ※まちづくり推進協議会をはじめとする有志により、道の駅を含めた新たな釜戸の価値創造について考える組織。		協議会の設置									
	特に道の駅に関する取組 (道の駅WG等、将来的な運営組織)		釜戸のまちづくりの視点から、まちづくりビジョンの検討									
	各コンテンツの実践PT ※道の駅等の運営に携わりたい有志を中心に、様々な試行イベント等を実施してコンテンツの検証をする。任意の集まり。		Step1:知ろう、学ぼう、考えよう! <起業勉強会の開催> ・ブランディングノウハウ ・経営ノウハウ等の習得		Step2:できることからやってみよう! <地域主体の運営に向けた試行> ・道の駅コンテンツへの参加者募集、試行支援 ・イベント等の開催(社会実験等) ・試行企画等の評価・見直し		Step3:本格稼働に向けた一歩を踏み出そう! <段階的整備に合わせた施設運営> ・計画地におけるコンテナによる常設運営支援 ・イベント等の定期的開催 ・企画等の評価・見直し		道の駅管理運営組織(法人) へ入りたいメンバー(住民)		法人化の検討	
	道の駅運営に係る市の役割		どのようなまちにしたいかの視点から、道の駅にどのような施設、店、商品、サービス、イベントがあったら楽しいか、便利か、人が集まるかを考え、実践する。	試したいことを試したい人たち(町内外の人)が実際にやってみる。試した結果を検証し、次回につなげる。	試した結果を反映し、実際に継続的(常設)に運営できる仕組み・コンテンツを考えて運営組織(任意組織)として活動する。	必要に応じて運営組織を法人化する。形態については、事業継続の能力やサービスの提供能力が求められるため、メンバーも含め慎重に検討する必要がある。		道の駅管理運営組織(法人) へ入りたいテナント				
道の駅に於ける協議会等の意向反映												
事業手法検討 市場調査												
要求水準検討												
協議会等の意向反映												
設計												
建設												
道の駅の供用開始(リニア中央新幹線開業・国道19号瑞浪恵那道路開通※)												

※国道19号瑞浪恵那道路開通については、瑞浪市として要望している時期を示したものです。